

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月11日	金	14:46	東日本大震災発生	盛岡震度6弱(後日、震度5強に訂正された)
3月11日	金	14:50	災害対策本部設置	社会事業部に幹部職員が参集、盛岡赤十字病院災害対策本部を設置
3月11日	金	14:55頃	津波情報	ラジオから「大津波警報発令、仙台6mの予想」
3月11日	金	15:00	病院被災状況確認	人的被害無し、建物被害無し、市内停電し自家発電、暖房停止、エレベーター停止、ガス停止、X線はポータブルのみ撮影可能、TV映らず、インターネット不通
3月11日	金	15:00	災害対応Ⅲ	災害対応Ⅲ(災害対策本部を設置、外来診療中止、救護班を編成、トリアージセンターを設置、救護所の設置、被災者用ベッド確保、検査・手術中止)の体制をとることとした。
3月11日	金	15:15	被災状況問い合わせ	日赤本社から被害状況の問い合わせあり
3月11日	金	15:30	手術患者	手術中以外は中止。エレベーター停止のため術後の患者はA棟とB棟の3階に収容とした
3月11日	金	15:45	入院患者安全再確認	入院患者全員の所在および安全の再確認終了
3月11日	金	15:50	救護班編成	医療救護班として、dERU要員14名が待機完了
3月11日	金	16:00	医師院内待機	院内放送で医師を医局に集め、全員院内待機とする
3月11日	金	16:07	受入準備	岩手県支部から「人的被害2000人を想定して対応すること。病院前ヘリポートの受入態勢を整えること」と指示あり
3月11日	金	16:10	急患受診	地震による受診者無し
3月11日	金	16:17	CPA搬入	救急車でCPA患者搬入、本震の後は生存していたが、余震の後家人が心肺停止していることに気づいた
3月11日	金	16:22	受入優先	岩手県支部から「救護班派遣より被災者受入れを優先して準備すること」と指示あり
3月11日	金	16:28	秋田日赤情報	秋田赤十字病院へ電話で状況報告、秋田も停電中
3月11日	金	16:45	エレベーター	A棟エレベーターは復旧、B棟は復旧せず
3月11日	金	17:00	夕食準備完了	栄養課から「非常食で夕食を準備した」と報告あり
3月11日	金	17:01	病院前ヘリポート	消防署から「病院前ヘリポートが使用可能であることを確認した、搬入準備を整えてもらいたい」と連絡あり
3月11日	金	17:04	沿岸情報	岩手県支部から「沿岸部の病院は収容不能。救護班の派遣は無し、受け入れ準備を」
3月11日	金	17:20	被災者受入準備	岩手県支部から、ヘリポートからの搬送手段を準備するよう指示あり→病院救急車に看護師が同乗して搬送する
3月11日	金	17:44	緊急地震速報	緊急地震速報→院内放送「大きな揺れが来ますので注意してください」→小さな揺れ
3月11日	金	18:05	ヘリポート変更	岩手県支部から「病院前ヘリポートは日没で使用できない、ヘリポートは消防学校に災害時広域搬送拠点(SCU)を開設して使用する。消防学校からの搬送手段を病院で確保すること」
3月11日	金	18:07	緊急車両	岩手県支部に、dERU先導用として、血液センターから緊急車両の借用を依頼→ok
3月11日	金	18:25	dERU展開命令	岩手県支部から、消防学校SCUにdERU(domestic Emergency Response Unit)展開命令
3月11日	金	18:50	地震情報	ワンセグ放送で「国内で観測された最大の地震、岩手県内の死者12名」
3月11日	金	18:50	熱傷患者対応要請	岩手県支部から「釜石市街に火の海」熱傷患者の対応要請あり→岩手医大に熱傷患者の受け入れ対応を確認「重症の熱傷患者は医大で引き受ける」との回答
3月11日	金	18:55	dERU出動	救急車+dERU、血液搬送用緊急車両+パジェロでdERU班員14名+運転手2名が出動
3月11日	金	19:05	消防学校SCU	岩手医大から「医大&県立中央も消防学校に救急車を派遣する」
3月11日	金	19:20	dERU待機	dERU班から「消防学校長の指示によりdERUはまだ展開しない」→救急車は一旦帰院する
3月11日	金	19:30	本部ミーティング	今後の院内体制を検討、医師は院内待機を継続、手術室は院内待機、検査部は6名院内待機
3月11日	金	19:43	車両確保	dERU班から「車両が足りない」→岩手県支部に血液センターからホーミー借用を依頼→ok
3月11日	金	19:50	消防学校SCU	dERU班から「消防学校ではヘリ受け入れの認識が無い」→県支部に確認を依頼
3月11日	金	19:50	血液センター	県医療国保課から「血液センターと連絡がとれない」と問い合わせあり→病院から血液センターに「県医療国保課へ連絡すること」と連絡
3月11日	金	20:05	燃料確認	県支部から重油の残量問い合わせあり→自家発電で3日、ただし暖房焚くと短くなる
3月11日	金	20:15	酸素ポンペ	県医療局から、500Lの酸素ポンペ6本貸出要請あり→ok、6本貸出し
3月11日	金	20:30	dERU展開命令	岩手県支部から「岩手県災害対策本部から指示が出ている。消防学校にdERUを展開し、要員は病院待機すること」と指示あり
3月11日	金	20:35	dERU展開	dERU班から「設置場所が決まった、これから展開する」と連絡あり→岩手県支部へ報告
3月11日	金	20:48	状況問い合わせ	盛岡市医師会から救急外来の受診状況問い合わせあり→混乱無し。医大・県中とも当院同様に混乱無しとのこと
3月11日	金	20:52	八戸市民DMAT	岩手医大から「八戸市民病院DMATが医大に居るが盛岡赤十字病院に移動する。ヘリに乗る話があるが聞いているか」→聞いていない
3月11日	金	21:00	宮古市から被災者	宮古市から被災者が来院→岩手県支部に避難者収容先を問い合わせ「神子田の公民館」と回答あり→避難者に地図を渡し、場所を説明
3月11日	金	21:10	TV確保	ワンセグをノートPCで受信し、PCから音声・TVから映像
3月11日	金	22:00	重油必要量	岩手県支部から重油の必要量問い合わせあり→満タンで40kL、残量27kL、通常3kL/日だが自家発電だと10kL/日
3月11日	金	22:12	避難者3名	盛岡市内から避難して来た3名が「今晚泊めて欲しい」→神子田の公民館へ
3月11日	金	22:27	救護班帰院	dERU班帰還→明朝8時まで院内待機とし、各自宿泊場所をホワイトボードに明示して仮眠
3月11日	金	22:47	被災情報	TVから「宮城県内で200~300人の水死体を確認」
3月11日	金	22:49	EMIS入力	支部と入力重複、入院受け入れ可能数100人で回答
3月11日	金	23:30	日赤応援救護班	日赤本社から「3ブロック(中部・北陸)・4ブロック(近畿)から医療救護班約10班が盛岡に向かっている、県支部と活動場所を協議する」と連絡あり
3月11日	金	23:55	仙台赤十字病院	仙台赤十字病院へ電話「受け入れ5名、建物は損傷程度だが、ライフラインが駄目。仙台市内は混乱しているようだが病院周辺は落ち着いている」
3月12日	土	0:15	石巻赤十字病院確認	数回かけるが通じず
3月12日	土	1:02	インターネット不通	企画管理課が復旧を試みたが、通信が安定せず使用不能
3月12日	土	1:30	酸素ポンペ	県医療局から「県災害対策本部の要請で八戸市民DMATにポンペ9本を県立大船渡病院に運んでもらいたい」と持参

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月12日	土	1:40	救護班派遣要請	岩手県支部から「5:50からヘリが飛ぶ、dERUは7時から消防学校で受け入れ、沿岸部に3個班を派遣して欲しい。2B(関東甲信越)は宮城に派遣、3B(中部・北陸)・4B(近畿)から応援の救護班は夕方到着の見込み」と連絡あり→「dERU+2個班を派遣する」と回答
3月12日	土	1:40	道路情報	岩手県大救急センターから「大船渡までは陸路で移動可能」との情報を入力
3月12日	土	1:48	急患室から応援要請	B棟エレベーターが復旧できず、男性職員が入院患者をB棟5階まで運び上げる
3月12日	土	2:10	DMAT	医大救急センターから「八戸市民病院DMATは朝まで盛岡赤十字病院で待機」
3月12日	土	2:30	救護班派遣要請	岩手県支部から「5時半からヘリが飛ぶ」→「dERUは7時までに受け入れ態勢を整える。2個班は6時に出勤する、残り1個班は8時に集合してから選任し出勤する」と回答
3月12日	土	3:10	救護靴不足	救護靴がサイズによって不足→沿岸派遣は救護靴、消防学校はスニーカーとする
3月12日	土	3:20	沿岸派遣用資材	沿岸派遣用として医薬品セットおよび救護資材セットに外傷用薬品および材料を追加
3月12日	土	3:35	宮古から被災者	正面玄関で受付対応の職員から「ふれあいランド岩手で受け入れている」との情報あり→ふれあいランド岩手に電話で確認し、ふれあいランド岩手を紹介に変更
3月12日	土	4:02	被災状況問い合わせ	福島DMATから被災状況の問い合わせあり→「受入体制を取っている、沿岸には派遣できていない」と回答
3月12日	土	4:10	八戸市民DMAT	八戸市民病院DMATから「5時に病院を出発し、5:30にヘリで大船渡へ飛ぶ」
3月12日	土	4:12	余震!?	中越地方で最大震度6強の地震
3月12日	土	5:25	赤十字無線ダウン	赤十字無線がダウン→基地局が停電しており、バッテリー切れ!?
3月12日	土	5:25	派遣命令	岩手県支部から消防学校へdERU班の派遣命令
3月12日	土	6:00	dERU班出勤	院内待機中のdERU班&救護班(医師4名、看護師11名、薬剤師1名、主事8名)計24名が消防学校へ出勤
3月12日	土	6:07	日赤応援救護班	県支部から「3B(中部・北陸)・4B(近畿)から9班が盛岡赤十字病院を目指している、福井県は現在仙台」
3月12日	土	6:10	応援救護班活動	県支部へ「最初は消防学校で活動を依頼するが、その後は沿岸部へ派遣したい」と打診
3月12日	土	6:30	ガス復旧	ガスが復旧、調理可能
3月12日	土	6:30	暖房復旧	蒸気が復旧、暖房再開
3月12日	土	7:42	医師派遣	消防学校救護班から「医師2名がヘリコプターで沿岸に飛んだ」と報告あり
3月12日	土	7:47	消防学校にDMAT	消防学校救護班から、長野と秋田からDMATがきて「活動場所が無い」と言っている→岩手県支部に報告
3月12日	土	7:55	消防学校指揮	県支部から「消防学校SCUは長野DMATアイザワ病院カミジヨウ先生が指揮する」と連絡あり→救護班へ指示
3月12日	土	8:00	本部ミーティング	昨日からの地震関連の受診は13人、当分の間毎日8:00と16:30に本部ミーティングする
3月12日	土	8:10	武蔵野日赤DMAT	武蔵野日赤DMATから「岩手医大に到着した、県立大船渡病院に向かう」と報告あり
3月12日	土	8:30	ヘリ移動	消防学校救護班から「医師以外はまだ飛んでいない」と報告あり
3月12日	土	8:35	状況問い合わせ	県医療推進課から、重症受入可能数の問い合わせあり→入院100人、廊下対応も可能。軽症は?→災害体制とっているので相当数可能。ただし、X線はポータブルのみ
3月12日	土	8:50	レスピレーター	県災害対策本部にレスピレーター5台を依頼→災对本部では調達不能と回答あり
3月12日	土	9:35	ガソリン確保	岩手県支部から「盛岡南インター近くのガソリンスタンドが開いている」との情報
3月12日	土	9:45	入院食運搬	入院食用エレベーター停止中のため、診療放射線技師が給食を搬送
3月12日	土	10:01	患者受入要請	南消防署から、陸前高田市からマイクロバスで中等症患者140人の受入要請あり→「一度に中等症140人受入は困難、70人受入する」と回答
3月12日	土	10:10	軽症者収容先	ふれあいランド岩手に受診後帰宅可能者の受入を打診→「70人受入可能」と回答あり
3月12日	土	10:25	消防学校に2チーム追加	県支部から、消防学校に救護班2班追加要請あり→病院受入中等症70名の予定あり派遣は困難、3B(中部・北陸)・4B(近畿)が到着したい消防学校へ派遣すると回答
3月12日	土	10:32	重油補充	重油22kℓを補充
3月12日	土	10:43	岐阜県救護班到着	岐阜県支部救護班(岐阜日赤10名&高山日赤8名)が到着、県消防学校での活動を指示
3月12日	土	10:45	透析受入要請	県保健福祉部から問合せ→40人(透析20人/日×2)と回答
3月12日	土	11:07	軽症者収容先	ふれあいランド岩手から「市災害対策本部の指示で70名は新庄浄水場へ収容する」と連絡あり
3月12日	土	11:15	dERU交代班	dERU交代要員7名が出勤
3月12日	土	11:17	消防学校活動状況	消防学校救護班から「数名トリアージしたが、ヘリがあまり来ない、待機中」と報告あり
3月12日	土	11:45	透析室患者	透析室から「明日20人の透析は決定か」と問い合わせあり→決定ではない
3月12日	土	12:00	福井県救護班到着	福井日赤救護班6名が到着、消防学校SCUでの活動を指示
3月12日	土	12:02	患者受入要請	南消防署から溺水による肺水腫の受入要請→ok
3月12日	土	12:10	休診周知	マスコミ各社に『月曜日以降の外来診療は休止』とFAXで送信
3月12日	土	12:15	透析患者受入れ	大船渡から透析室に明日10名の透析要請あり→ok
3月12日	土	12:33	救護班食料	消防学校から帰還した救護班から「班員の食料を市内で購入できない、病院で調達して欲しい」と要請あり→栄養課職員が塩おむすび60個をにぎった(3月27日まで事務系女性職員が炊き出し)
3月12日	土	13:02	患者受入要請	60歳女性、今朝8時から練炭で暖をとっていたら意識がもうろうとした。JCS3→ok
3月12日	土	13:10	70人受診	南消防署に70人の到着予定時刻を問い合わせ→不明。他院に搬送した?→情報が入りしだい連絡する
3月12日	土	13:25	医師2名高田へ	県立大船渡病院から「盛岡赤十字病院の医師2名は県立高田病院へ行った」と連絡あり
3月12日	土	13:30	遠野市状況確認	県立遠野病院に問い合わせ「遠野市内は落ち着いている。昼頃から沿岸の患者がぼちぼち受診している」
3月12日	土	13:35	秋田県救護班到着	秋田日赤救護班7名が到着→院内待機とした
3月12日	土	14:20	福井日赤救護班帰院	福井日赤救護班から「消防学校SCUに2時間居たが患者が来ない、巡回診療したい」→盛岡市内で避難所となっているふれあいランド・手代森小学校・新庄浄水場の巡回診療を県支部に打診→ok
3月12日	土	14:38	静岡県救護班到着	静岡県支部救護班(静岡日赤10名&浜松日赤8名&支部2名)が到着→院内待機とした
3月12日	土	15:01	陸前高田市へ	県支部から、秋田救護班を陸前高田市へ派遣するよう指示あり(秋田第一班と合流する)
3月12日	土	15:10	兵庫県救護班到着	神戸日赤dERU班13名が到着→院内待機とした
3月12日	土	15:20	透析・人工呼吸患者	県支部から「医大がそろそろ受け入れ限界、受入可能数は?」と問い合わせあり→透析30人、人工呼吸10人

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月12日	土	15:42	陸前高田市救護班追加	陸前高田第一中学校で活動中の秋田第1救護班から「あと2班欲しい」→秋田第2救護班が既に向かっている、福井日赤救護班を派遣する→福井日赤に、陸前高田市まで100km、車で2時間。秋田と協力して活動するよう指示
3月12日	土	16時頃	福島原発	福島原発が爆発との報道
3月12日	土	16:10	電気復旧	電気が復旧
3月12日	土	16:27	患者受入要請	釜石から、41歳女性くも膜下出血の転院受け入れ要請あり→ok
3月12日	土	17:46	PHS復旧	PHSが復旧
3月12日	土	17:47	医師2名	川村部長から「島谷先生と大船渡病院にいたがDMATが多かったの、午後は陸前高田市内の中学校の避難所でトリアージした。現在は大船渡病院にいる」→久保災害対策委員長から明日帰院するよう指示
3月12日	土	17:55	和歌山救護班	和歌山日赤救護班から「盛岡に向かって移動中、到着は深夜になる。寝袋は持参しているので寝場所を準備願いたい」→ok、男性は記念講堂、女性は社会事業室内和室&職員ラウンジ
3月12日	土	18:05	SCU終了	県支部から「夜間ヘリコプターは飛ばないのでdERU班は病院に帰還すること」と指示あり
3月12日	土	18:05	高田一中交替班	県支部から「陸前高田第一中学校は傷病者が殺到している。交代班の派遣を」→明朝、岐阜県支部2班(岐阜日赤・高山日赤)を派遣する
3月12日	土	18:05	沿岸派遣を進言	県支部に「今日、消防学校に8人しかヘリで搬送されてこなかった。沿岸には医師2名しか飛んでいない。大規模災害でありフル装備で活動するには車両で移動した方が良い。他県から応援の救護班を沿岸に派遣したい」と進言
3月12日	土	18:40	沿岸派遣が決定	県支部から「救護班の沿岸派遣を許可する、派遣先は病院に任せる」と回答あり
3月12日	土	19:06	合同ミーティング	兵庫県神戸日赤dERU&静岡県(静岡日赤&浜松日赤)に沿岸派遣の説明。沿岸市町村役場と連絡が通じない、内陸と沿岸は無線も通じないので通信手段は衛星携帯電話のみ。陸前高田市は赤十字救護班が活動中。内陸から沿岸まで通行可能のようだが釜石市は仙人峠の橋が落ちたとの噂があるが確認できていない。明日釜石市・大船渡市・陸前高田市からの交通拠点である住田町から情報収集し、津波到達地域の手前で活動するよう指示
3月12日	土	19:40	患者受入要請	南消防署から「気仙沼から軽症患者15名搬送したい」→ok
3月12日	土	19:50	陸前高田市情報	県支部から「秋田救護班から、陸前高田第一中学校に1,250人、周辺に2,500人が避難しており、朝夕の巡回診療が必要。不眠・下痢・風邪が増えている。3班でもキツイ、内科2、外科1が望ましい」と情報あり
3月12日	土	20:45	DMAT宿泊要請	県支部から「花巻空港で活動したDMAT隊員300人の宿泊場所が無い、災害救援センター(体育館)を提供できないか」と要請あり→「災害救援センターは暖房が無くトイレも少ない、外来待合室に100人受入する」と回答
3月12日	土	20:50	被災者受入れ	気仙沼から小児を含む19名が受診、主訴：空腹・疲労→新庄浄水場に受入れと食事提供を要請→受診後移送
3月12日	土	21:54	B棟エレベーター復旧	B棟のエレベーターも復旧
3月12日	土	21:57	離乳食	高山日赤から「巡回診療した公民館で離乳食の相談を受けた」と報告あり→矢巾町の保健師に連絡し、対応を依頼
3月12日	土	22:58	DMAT隊員到着	男性は2階外来待合室の長椅子、女性はリハビリ室の畳で宿泊
3月12日	土	23:50	高田70名について	ふれあいランド岩手から「高田の70名はどうなったか」と問合せあり→経過を説明し、謝罪
3月13日	日	1:50	和歌山救護班到着	和歌山日赤救護班10名が到着→岩手県内の状況を説明
3月13日	日	5:05	高田一中交替班出動	岐阜日赤&高山日赤の2班が高田第一中学校へ出発
3月13日	日	5:40	盛岡救護班出動	盛岡救護班(17名)が消防学校SCUへ出動
3月13日	日	6:00	DMAT隊員出発	病院で宿泊したDMAT隊員がバスで出発
3月13日	日	7:20	気仙地方へ出動	兵庫県神戸日赤dERU班と静岡県(静岡日赤&浜松日赤)の3班が沿岸南部に出動
3月13日	日	7時半頃	インターネット復旧	院内のインターネットとメールが復旧
3月13日	日	7:40	宮古地区派遣	県支部へ「和歌山日赤救護班を宮古方面へ派遣したい」→ok
3月13日	日	8:15	石川県救護班到着	県支部から「金沢日赤救護班8名が県支部に到着した、病院へ移動する」と連絡あり
3月13日	日	8:25	和歌山ミーティング	宮古市まで100km弱、車で2時間。北上山地があり無線は通じない、通信は衛星携帯電話のみ。宮古市役所と連絡がとれていない、情報収集して病院に情報提供しながら活動するよう指示
3月13日	日	9:30	陸前高田市情報	高山日赤救護班から「道路は高田までは問題無し、高田に入って5kmに渡って津波の跡があるが、自衛隊が道路をつくり車両通行可能。陸前高田市内の高台約40カ所を県のスタッフの案内で巡回診療する」と報告あり
3月13日	日	9:35	消防学校へ応援班	消防学校で活動中の盛岡救護班から応援要請あり→金沢日赤救護班に消防学校応援を依頼し、盛岡が緊急車両で先導
3月13日	日	9:40	奈良県支部到着	奈良県支部救護班6名が到着
3月13日	日	9:45	患者受入要請	県立大船渡病院から「1608gの未熟児レスピレーター不要・保育器必要&切迫早産の妊婦の2人を受け入れてもらいたい。搬送手段が無い、今日中に救急車で迎えに来て欲しい」と要請あり→小児科医+運転手2名が救急車で向かう
3月13日	日	10:50	奈良日赤ミーティング	久慈市まで120km、車で3時間弱。無線は通じない、通信は衛星携帯電話。久慈市役所とは連絡がとれていない。大川日赤中学校を目標として情報収集し、病院に報告しながら活動するよう指示。薬希望が多いとの他救護班情報を提供→慢性疾患薬・風邪薬・抗生剤等を補充し出動
3月13日	日	11:40	静岡県支部情報	浜松日赤救護班から「遠野市と住田町は医療救護は不要と言われた、遠野の自衛隊から釜石市に医療救護班が入っていない、通行可能とのことなので自衛隊と釜石市へ向かう」と報告あり
3月13日	日	11:45	宮古市情報	和歌山日赤救護班から「宮古市の避難者8000人、他に医療救護班無し」と報告あり→金沢日赤を消防学校から引き揚げ宮古市へ派遣する
3月13日	日	12:15	金沢日赤	金沢日赤が消防学校から帰還、宮古市への派遣について説明。和歌山日赤と連絡を取り、協力して活動するよう指示
3月13日	日	13:50	消防学校情報	杉村班長から「消防学校はDMATで十分」と報告あり
3月13日	日	13:54	徳島日赤到着	徳島日赤救護班12名が到着→久慈市への派遣について説明
3月13日	日	14:46	久慈市情報	奈良日赤救護班から「久慈市は医療機関が機能しており医療救護は不要、野田村の被害が大きいとの情報があり今から向かう」と報告あり

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月13日	日	14:50	宮古市情報	和歌山日赤救護班から「宮古市に医療救護が来ていない、100~200人の避難所が多数」と報告あり→徳島日赤の派遣先を久慈市から宮古市に変更
3月13日	日	16:15	野田村情報	奈良日赤から「野田村は避難者多数で救護所を開設して診療している。外傷は殆ど無し、慢性疾患の薬希望と不安・不眠の方が多い。明日は工業高校で診療し、その後時間があれば避難所を巡回する。携帯は全社不通、衛星携帯のみ通信可能」と報告あり
3月13日	日	16:30	宮古市情報	和歌山日赤救護班から「宮古市役所と相談し、避難所を巡回する①宮古小学校、②宮古第2中学校、③宮古西中学校。金沢日赤・徳島日赤と接触出来ていない」と報告あり
3月13日	日	16:55	dERU撤収命令	県支部から「県災害対策本部から消防学校のdERU撤収命令が出た」と指示あり
3月13日	日	17:00	事務応援	血液センターから「支部と協議し連絡調整員を明日2名、明後日1名派遣する」と申し出あり
3月13日	日	17:05	患者搬送	岐阜日赤から「1時頃患者受入を要請したが、自衛隊の判断で県立大船渡病院に搬送したことが分かった」と報告あり
3月13日	日	18:00	dERU医師帰還	消防学校から医師2名が帰還「取扱い数44名、患者は多様。一機に数名乗ってくるので続けて到着すると大変」と報告あり
3月13日	日	18:55	救急車帰還	県立大船渡病院から新生児を搬送した救急車が帰着。川村 & 島谷Drも同乗し帰還
3月13日	日	18:56	支援物資	県支部から「水や毛布が届いている、災害救援センター(体育館)に置きたい」→ok
3月13日	日	19:00	炊き出し	ひつつみ & おにぎりの炊き出しあり
3月13日	日	19:20	dERU帰還	県消防学校SCUを撤収し当院救護班が帰還
3月13日	日	19:50	複写処方箋	県支部から「神戸日赤から手書処方箋300枚の依頼があった。ボランティアが届ける、病院に行くので渡して欲しい」→ok
3月13日	日	20:37	病院宿泊	県支部から「DMATが病院にきたら宿泊場所を提供してもらえるか」→ok
3月13日	日	22:50	島根日赤着	島根県益田日赤DMATが到着「花巻空港で活動していた」→院内に宿泊
3月14日	月	0:20	釜石市から帰院	神戸日赤・静岡(静岡日赤・浜松日赤)の救護班が釜石市から帰院→炊き出しのひつつみ & おにぎりで夜食
3月14日	月	0:20	釜石市情報	釜石市で活動した静岡救護班から報告 ①釜石市鈴子 ケーズ電気前にdERUを展開した。 ②県立釜石病院は2次救急病院として機能しており、大槌から患者を搬送していた。 ③大槌病院は2階まで水没した。寝たきりの入院患者は大槌高校へ移した。医師が3名いた。 ④のぞみ病院は一階まで瓦礫に埋まっていた。入院患者はいた。 ⑤釜石厚生病院が一次救急患者を診ていた。 ⑥日常薬の希望が多く薬が足りない→高血圧・糖尿病・抗凝固薬等を補充 和歌山日赤救護班(金沢日赤と徳島日赤も一緒)から衛星携帯で報告。 ①これから宮古西中学校の教室で野営する、救護員は全員元気。中学校は明日から再開予定のため、明日以降の野営場所は未定。 ②本日午前5時半から宮古市消防本部で対策会議を開くと宮古市災害対策本部から連絡が入った。参加は、市役所職員、DMAT、自衛隊、日赤救護班。 ③対策本部は宮古市役所内に設置。市役所1階は浸水し、停電中だが2~4階で何とか運営している。到着時、市長と会い、現在までの状況を伺った。被災者の数がかなりとの情報。地元医師会との連絡・接触はなし。 ④被災者は外科系は殆どいない、内服薬が切れた等の内科系がかなり多い。 ⑤海岸沿いは壊滅状態。各救護所に保健師が派遣されている。 ⑥和歌山第2班でdERUが来るが、設営場所は明日の会議で決めたい。
3月14日	月	0:45	宮古市情報	救護班に補充する慢性疾患薬をセット化した
3月14日	月	1:30	内服薬セット	釜石市へ出動
3月14日	月	6:10	釜石市へ出動	釜石市へ出動
3月14日	月	6:30	島根日赤へ情報提供	沿岸の情報が入り始め、陸路の安全が確認された市町村から救護班を派遣し始めた段階。沿岸との連絡は衛星携帯電話のみ。医薬品(血圧・糖尿病・ワーファリン、不眠・頭痛・便秘)の要望が多い
3月14日	月	7:20	収容可能数	盛岡消防本部から問合わせあり→「入院100人受け入れ可能、一般外来は中止し被災者対応する」と回答
3月14日	月	8:00	本部ミーティング	本日の外来診療は中止。 16時半からミーティングする
3月14日	月	8:36	野田村情報	奈良日赤から「これから村内を野田村の役場職員 & 保健師と巡回診療する」と報告あり
3月14日	月	8:53	緊急セット	沿岸から入院した患者から、タオル・歯ブラシの要望あり→支部に被災入院患者用として緊急セット100個提供を依頼→ok
3月14日	月	8:50	福井日赤	福井日赤第2班から「直接高田第一中学校に向かう、11時までに到着予定」と報告あり
3月14日	月	9:05	調剤薬局	病院周辺調剤薬局3ヶ所は本日営業予定→院内放送で院外処方箋発行可能を周知
3月14日	月	9:22	外来対応	玄関前に予約患者が殺到している→「休診」の看板を出し「災害体制」を作成して掲示する
3月14日	月	9:25	宮古市情報	和歌山日赤から報告 ①朝5:30からの会議で、県立宮古病院にDMATが入り、日赤が巡回診療して患者をピックアップすることになった。 ②和歌山は山田南小学校1000人、徳島は山田高校1500人、金沢はグリーンピア田老600人に向かった。
3月14日	月	9:40	爆発事故	中三デパート地下で爆発12名負傷。うち赤1、黄色1を当院で収容
3月14日	月	9:50	日赤本社報告	日赤本社から医療需要状況問合わせあり→救護所では日常服用していた薬の要望が高いと回答
3月14日	月	10:10	ボランティア対応	ボランティアの申し出あり支部から確認「赤十字は防災ボランティアの対象者のみ、新規の申し入れは県社会福祉協議会又は盛岡市社会福祉協議会で受け付けている」
3月14日	月	10:51	津波情報	県災害対策本部から反射波が計測されているので海岸から避難すること→無線 & 衛星電話で救護班に連絡
3月14日	月	11:00	厚生労働省問合わせ	厚生労働省医政局から病状別の患者数問い合わせ→医事課から回答
3月14日	月	11:10	NHK問い合わせ	NHKから病状別の患者数問い合わせ→医事課から回答
3月14日	月	11:30	石巻病院情報	事務部長から「石巻日赤では職員30名が安否不明、取り扱い患者1日2000人。事務職員の応援要請があったが、お断りした」
3月14日	月	12:03	大船渡処方確認	精神科Drから「県立大船渡病院に通っていた患者の処方内容を問合せたい」→盛岡からは行政無線のみ、医療局に依頼し無線で処方内容を確認してもらう
3月14日	月	12:50	透析患者受入	宮古市から1名移動中

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月14日	月	13:42	職員応援	血液センターから「明日から看護師10名派遣する」と申し出あり
3月14日	月	14:35	主事小笠原	「釜石で災害対策本部本部要員として活動中。昨夜は車中泊、明日帰還予定」と報告あり
3月14日	月	14:35	高田一中救護所	県支部から「陸前高田市4班が激務、秋田は既に4班目、福井も3班目、引継ぎに盛岡が加わらなければならぬことが考えられるので準備を」と連絡あり
3月14日	月	14:45	診療体制	災害救護体制Ⅲ(外来休診)を明日も継続することを決定
3月14日	月	14:52	薬品補充	陸前高田市救護班から「慢性疾患用の薬が不足している。病院で補充してもらえないか」→ok
3月14日	月	15:17	救護班派遣	県支部から「盛岡赤十字病院から高田第一中学校へ2個班、明日から2泊3日で3月末まで派遣すること」と指示あり→「24時間活動しており、1泊2日現地交代で回す」と回答
3月14日	月	15:20	高田一中状況確認	秋田日赤救護班から情報収集「高血圧・糖尿病・ワーファリン等の慢性疾患薬希望と不眠・下痢・頭痛等が主」
3月14日	月	16:25	野田村情報	奈良日赤から「17日まで活動し、第2班が24日まで活動する。今日は久慈工業高校、明日総合運動公園に救護所を設置する。16:30～久慈市医師会・DMAT・日赤で会議。薬品補充が必要→病院で対応する。」
3月14日	月	17:35	状況確認	八戸赤十字病院院長から当院の状況について問合せあり。病院被災状況と岩手県内における赤十字救護班活動状況等を説明
3月14日	月	22:00	患者受入要請	山田町&宮古市から41人患者受け入れ要請あり→ok
3月14日	月	23:15	兵庫救護班	兵庫県支部から「明日第2班姫路&柏原に引き継ぐ、第3班神戸まで決まっている」
3月14日	月	23:25	宮古市情報	和歌山日赤から報告 ①山田高校の避難所で救護所を開設(1200名収容)、和歌山日赤&徳島日赤で診療。 ②金沢日赤は田老で救護所設置したが、地元の医師会で対応可能のため撤収。今後は山田高校で活動する。 ③防災会議が5時と18:30に開催され方針決定。自衛隊・DMAT・消防・警察・日赤で開催。明日は、各救護班に防災無線を持った消防署職員が同行する予定。 ④山田地区のライフラインは手付かず。 ⑤和歌山は明日朝8時で撤収し、第2班に引き継ぐ。第2班は明日朝8時に和歌山を出発し、山田町にdERUを設置する予定
3月14日	月	23:50	被災地情報	県支部から「大槌町は地元医師会が巡回する動きがある。陸前高田市はDMATも入っておらず、地元医師会も機能していない。調整三上・小笠原から活動は陸前高田市だろうと報告が入った」
3月15日	火	0:05	医薬品補充	神戸・静岡・浜松の3班が帰院、医薬品・ストーマ材料等を補充
3月15日	火	5:55	釜石市へ出勤	神戸日赤・静岡日赤・浜松日赤の3班が釜石市へ出勤
3月15日	火	6:20	盛岡救護班	県支部から陸前高田市へ2班派遣命令
3月15日	火	6:25	宮古市情報	昨夜は宮古小学校に宿泊した。今日は、徳島日赤と金沢日赤の2班で山田高校を拠点に巡回診療する
3月15日	火	6:30	院外処方箋	釜石市で処方箋が足りない。→院外処方箋+カーボン紙、注射処方箋(複写)の両方を提供 9時頃支部が病院に取りに来て釜石へ届ける
3月15日	火	8:00	本部ミーティング	本日も外来診療は中止
3月15日	火	9:00	鳥取日赤到着	釜石市へ派遣。明日以降活動場所の変更が有りえることを説明
3月15日	火	10:05	県内地図調達	休業中の東山堂書店に電話し地図5冊購入
3月15日	火	11:20	伊達日赤到着	伊達日赤7名が到着、釜石市へ派遣
3月15日	火	11:40	陸前高田情報	盛岡救護班から「巡回診療で手が回らない地区がある。慢性疾患の薬が足りない」→岡山日赤に補充薬品を依頼し派遣する
3月15日	火	12:20	救護班要望調査	日赤本社から救護班数の要望調査あり→現状の班数を維持してもらいたい、と回答
3月15日	火	13:45	大船渡病院情報	自衛隊員から「県立大船渡病院がオーバーフローしている、盛岡赤十字病院の情報を知りたい」→重症熱傷と循環器手術以外は対応可能、病院案内パンフレットを提供
3月15日	火	13:52	被災者要望	被災入院患者から「所持金が無い、お金が欲しい」→支部事務局長から銀行に要請し対応していただくことになった。被災入院患者の利用銀行を確認する
3月15日	火	14:00	薬品補充	高田へ戻る自衛隊に不足薬品と衛星携帯電話を高田一中救護班に届けてもらうよう依頼
3月15日	火	14:30	紙おむつ	県支部から「北海道から大人用紙おむつ1600提供の申し出あり」→野田村で需要あるのでお預かりする
3月15日	火	15:05	看護師支援	血液センターから看護師支援、今日11人、明日から18日まで10人
3月15日	火	15:58	急患対応	大槌町から急患7人が来院→院内放送で職員を召集し対応
3月15日	火	18:20	和歌山救護班	和歌山第2救護班から「新潟を走行中だが、雪で高速道路が通行止めとなり盛岡到着時刻が不明。明日は金沢も抜けるため徳島1班となる」→明日、盛岡から山田町に救護班を派遣する
3月15日	火	19:50	山田町情報	徳島日赤から「山田高校診療59人、搬送0、落ち着いた。金沢が合流する。和歌山は15日で終了し、後続は17日から。自衛隊が医療活動を始めた」
3月15日	火	20:10	薬品補充	釜石市で活動中の伊達日赤主事が帰院「釜石市内で降圧剤が調達できない。釜石第一中学校跡に救護所を設営した」→病院から降圧剤を補充し釜石市へ
3月15日	火	20:00	事務支援	血液センターから「明日から事務2人を派遣する」と申し出あり
3月15日	火	21:30	金沢日赤到着	金沢日赤第2班7名が到着、第1班から引継ぎ山田町で活動する
3月15日	火	23:25	大船渡市状況確認	県支部へ大船渡市で医療救護班のニーズが無いか問合せ→県立大船渡病院が機能し、DMATが応援している
3月16日	水	6:35	野田村情報	奈良日赤から「今日まで活動し、第2班に引き継ぐ。今日は道が通行可能であれば普代、通行止めなら種市で活動する」
3月16日	水	8:00	転院相談	福島にいる妊婦から「放射線が心配なので盛岡に転院したい」→ok、できれば主治医の紹介状持参で
3月16日	水	8:05	薬品補充	釜石市で活動中の伊達日赤から、クラブビット・ロキソニン・プルセニドの補充要請あり
3月16日	水	8:10	大船渡市	武蔵野日赤DMATが昨日から県立大船渡病院で活動中。17or18日まで
3月16日	水	8:15	本部ミーティング	本日から予約患者の外来診療を再開する
3月16日	水	8:18	釜石市情報	本日、柏原日赤が救護所、鳥取日赤が巡回診療、伊達日赤が旧釜石中学校。9:45から釜石市教育センター脇の鈴子広場で打合せして活動する
3月16日	水	8:35	母親情報確認	出産後、児のみ送られてきた親族から「母親の安否が不明」と安否確認の依頼あり→血液センターから大船渡病院の衛星携帯番号を入手し、入院中であることを確認
3月16日	水	9:35	水提供	四国の民間給水車が来院し「被災地へ運搬する」と水2000ℓの給水要請あり→提供

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月16日	水	9:50	岡山地赤到着	岡山地赤8名到着、高田一中へ派遣
3月16日	水	10:00	患者受入要請	陸前高田市から下腿熱傷+診察7名を盛岡赤十字病院へ搬送したい→ok
3月16日	水	10:16	退院患者移送	退院患者から「大迫に帰りたいが交通手段がない」→患者搬送してきた大迫の救急車に依頼
3月16日	水	10:18	情報収集	久保災害対策委員長が被災地情報収集のため沿岸へ出動
3月16日	水	10:25	釜石市情報	伊達日赤から「旧釜石中学校救護所は患者数が多くて大変」と報告あり
3月16日	水	12:41	小学生高田移送依頼	小児科受診者から「明日、小学4年生を陸前高田市まで送ってもらいたい」と相談あり→高田は寒い食事もない→高田の避難所に親が居る→親が盛岡に来ては→アパートでそんなに住めない→盛岡にも避難所がある→どこに相談すればよい？→盛岡市災害対策本部を紹介
3月16日	水	13:00	支援物資	230mlペットボトルの水提供の申し出あり→お預かりし、救護班を通じて山田町へ
3月16日	水	15:20	米買出し	東和町で米の購入可能との情報あり→トラックで出向き購入
3月16日	水	15:20	支援物資	盛岡市内の個人から、お産用品+ミルクの提供あり
3月16日	水	16:30	和歌山地赤到着	和歌山地赤到着、車両3台だが雪道の運転経験者1名→北上山地(区界峠)を越えなければならぬが、みぞれで気温も低く日没。路面凍結の可能性が高く、明朝盛岡の職員が運転して山田町へ移動することとした。
3月16日	水	17:30	釜石救護体制	明日、釜石市が交代の関係で手薄になる→明日、盛岡日赤から釜石へ救護班を派遣する
3月16日	水	21:10	高田救護体制	藤澤班長から「高田一中の救護活動を盛岡がマネジメントする必要がある」と報告あり→杉村外科部長が調整のため高田一中へ
3月16日	水	21:45	苦情電話	電話で「今朝日赤に行った時、自衛隊が駐車場でエンジンをかけっぱなしだった。ガソリンが不足しているのに、ガソリンの無駄遣い。病院から注意しろ」と苦情あり→自衛隊車両に伝達
3月16日	水	22:25	消防学校連絡調整員	DMATから「消防学校に連絡調整員を派遣してもらいたい」と要請あり
3月17日	木	2:31	陸前高田救護体制	杉村部長から「明日夜間、高田一中が手薄になる」→日中釜石で活動した班が夕方高田へ移動で良いか→ok
3月17日	木	7:33	陸前高田市救護	杉村部長から「盛岡が毎晩夜間診療を担当することとしたい」→ok
3月17日	木	8:50	看護師支援	血液センターから看護師応援は土日必要か→土日依頼
3月17日	木	9:09	患者受入要請	陸前高田の秋田日赤から「29歳女性、中耳炎を救急車で送りたい」→ok
3月17日	木	9:15	ケア用品補充	杉村部長から「人工肛門+尿管皮膚瘻のケア用品を毎日送って欲しい」→患者を確認し業者と相談して個別対応する、それまでの分は救護所に準備する
3月17日	木	10:00	A重油不足	施設管理課から「A重油が足りない」→岩手県支部経由で県災害対策室燃料班に依頼→「国へ手配中であるが、遅れる懸念は否めない」と回答あり
3月17日	木	10:06	身元不明者	盛岡市役所から「重症入院患者で身元不明者はいるか」→居ない
3月17日	木	10:54	奈良県支部	奈良県支部から「空路で三沢空港に到着し、青森県支部に野田村まで送ってもらう」と報告あり
3月17日	木	11:07	薬品補充	釜石第一中学校から薬品補充要請あり→ok
3月17日	木	11:15	検案用品	紫波警察署から死体検案の識別に利用できる用品提供の依頼あり→識別バンド(古いトライアングリリストバンド)を数百本&未滅菌ガーゼダンボール数箱を提供
3月17日	木	12:38	外国籍被災者の有無	アメリカ大使館から外国籍被災者搬入の問い合わせ→現時点で無しと回答
3月17日	木	12:08	患者確認	厚生労働省から患者数問合せあり→入院約50人、外来約130人
3月17日	木	13:30	患者受入要請	県立大船渡病院から2人→ok
3月17日	木	13:40	支援物資	フクダ電子から紙製担架100枚、パルスオキシメータ40台提供の申し入れあり→お預かりし、救護班等に配布して利用する
3月17日	木	15:05	現地災害対策本部	県支部から「日赤現地災害対策本部を遠野健康福祉の里に設置した。20量の宿泊室あり」
3月17日	木	15:25	岡山地赤	岡山地赤救護班8名到着→山田町に派遣する
3月17日	木	15:54	患者受入要請	釜石救護所から「明日2人受診させたい」→ok
3月17日	木	16:04	被爆対応	阿部放射線科部長から「福島から被爆の可能性のある方が来た時どう対応するのか」→盛岡市保健所に問い合わせ「マニュアルは無いが半径30km以上は心配ない」との回答
3月17日	木	16:25	読売新聞取材	読売新聞から電話取材→「物流が途絶えて入院の食事・ケア用品などが不足している。阪神淡路大震災の時は渋滞で物の流れが悪かった。今回は渋滞は無いが、ガソリン不足で物流が途絶えている」と回答
3月17日	木	16:30	本部ミーティング	「ガソリン不足による通勤困難により院内で宿泊を希望した職員118名」と報告あり
3月17日	木	16:43	支援物資	県にアピオに集まっている支援物資を譲ってもらえないか問い合わせ→「沿岸に送るもので提供できない」との回答
3月17日	木	17:28	釜石救護活動	盛岡日赤救護班から「昼から大槌高校で活動し、釜石シーブラザで打合せ」と報告あり
3月17日	木	17:46	患者受入要請	県立大船渡病院から脳神経外科患者2名受入要請あり→ok
3月17日	木	17:55	ダイアライザー	救急医療総合研究機構からダイアライザーの型番問い合わせあり→MEから回答
3月17日	木	18:10	透析確認	MEから現状確認「あと1週間は透析可能」
3月17日	木	18:34	安否確認	安否問い合わせ電話あり→B4病棟入院中
3月17日	木	19:00	安否確認	安否問い合わせ電話あり→A4病棟入院中
3月17日	木	23:00	山田町情報	和歌山地赤から「和歌山は大沢地区の大沢小学校にdERUを建てた。14～19時で30人診察、体育館で50人強診察。徳島日赤は山田高校。金沢日赤は山田南小学校。保健所と日赤救護班3班で合同会議を毎日午後7時に定例開催する。不足物品は救護隊が盛岡赤十字病院まで取りに来る」
3月18日	金	6:45	薬品搬送	106急行バスが運行を再開。山田町の薬品搬送に利用できないか県北バスに問い合わせ→「宮古営業所までなら可能」と回答あり
3月18日	金	7:12	熊本から救援薬品	「薬が不足している」と聞いている、佐川急便盛岡店までだと届く。レターパックだと量は限られるが何度か送り盛岡まで届いている」→薬剤部から不足医薬品を依頼
3月18日	金	7:30	高田市情報	杉村部長から「陸前高田市の避難者は計9000人、避難所60カ所。移送車両は自衛隊9人乗り2台のみ。午前は遠野病院へ、午後は盛岡日赤へ向かう」
3月18日	金	8:32	市内避難者	ふれあいランド岩手から「被災者が80人程避難して居る」
3月18日	金	9:10	服薬情報	久保災害対策委員長が県医師会にレセプト情報から服薬情報の提供を要請した→国保連合会&支払基金が窓口を設置した

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月18日	金	9:20	患者問合せ	TV岩手から「沿岸から3日かけて歩いてきた妊婦が居るということだが」と問い合わせあり→歩いて山を越え、夫の車で盛岡赤十字病院に到着した→取材を依頼され本人に意思確認「私は助かったが周りに犠牲になった方が多数いる、お断わりします」
3月18日	金	10:05	薬品補充	山田町で活動中の和歌山日赤救護班から薬補充のため2名が到着
3月18日	金	10:51	物資調達	高野小児科部長から「医大はアピオからオムツを譲り受けた」との情報あり→県暮らしの生活安全課に問合せしたところ、乾電池&オムツの提供ok→病院職員が取りに行く
3月18日	金	11:14	積込応援	支部事務局長から「緊急セットを全て沿岸に送る、積み込みを手伝ってもらいたい」→院内放送で職員に応援を要請→入院患者の家族からも応援の申し出あり
3月18日	金	11:55	薬品搬送	JRバスが久慈まで1往復するというので薬の運搬を依頼できないか問い合わせ→「物品のみの輸送は出来ない、県や自治体から公式に要請があれば検討する」
3月18日	金	12:15	大船渡情報	武蔵野日赤DMATから「県立大船渡病院から撤退する。大船渡は県立病院が機能しDMATも多数、医師会も機能している」と報告あり
3月18日	金	12:22	被災者受診	ふれあいランド岩手から連休中の受診相談あり→「急患室で対応する、急患以外は平日日中に受診を」と回答
3月18日	金	12:35	山田町救護	県支部から「山田町で3班活動しているが、交代で明日1班になる」→盛岡と高田から各1班派遣する→血液センターに看護師2名を要請→ok
3月18日	金	14:00	ふれあいランド岩手	久保災害対策委員長からふれあいランド岩手巡回診療の提案あり→健診部鎌田部長が巡回する
3月18日	金	15:37	薬処方	高田救護班から「施設入所者20人分の薬が必要、施設の職員がお薬手帳をもって盛岡日赤に向かう」→ok
3月18日	金	16:02	支援物資	愛知県(株)ディレクションから「お客さんから預った水・布団・オムツ等10トン車1台分を届けたい、受け取っていただけるか」→ガソリンが無く物流が止まっている→「車は手配している。石巻日赤には何度か届けた」→お預かりし、救護班が活動する避難所に届けることとした
3月18日	金	16:30	本部ミーティング	明日・明後は本部ミーティング無し、月曜日は8:15と16:30、火曜日から平日16:30のみ
3月18日	金	18:00	鳥取日赤到着	鳥取日赤救護班9名が到着、明日から釜石市内での活動を指示
3月18日	金	19:52	救急搬送	陸前高田救護所から「p59、血圧101→89/65→53、サーチレーション97%の患者を救急車で搬送する」と連絡あり→ok
3月18日	金	21:25	高田から受診バス	県が被災者受診用として55人乗りバスをチャーターした。高田一中と病院を毎日1往復する
3月19日	土	11:15	患者受入要請	県立大船渡病院から大腿骨折患者の受入要請あり→ok
3月19日	土	15:50	山田町情報	久保班長から「現在、山田町役場。岡山日赤が着いたので指示を出した。徳島日赤は夜に引き継ぐ予定。衛生環境が悪く、下痢、嘔吐、発熱が多くなっている。盛岡日赤は和歌山日赤へ引き継いで帰る」
3月19日	土	16:20	野田村救護薬品	県支部から「奈良日赤救護班が野田村で使用する薬品が奈良県から提供されることになった、明日届く」
3月19日	土	16:50	消防学校SCU	県支部から「消防学校での活動を終了する」と連絡あり
3月19日	土	16:55	支援物資	県支部から「パラマウントベッドから折りたたみベッド30台の提供申し出あり」→お預かりする
3月19日	土	19:30	山田町情報	山田町大沢小学校盛岡救護班から「風が強くとERUテントが飛ばされそうなので撤収した。学校から救護所として校長室を確保してもらった。119番が通じるようになった」
3月19日	土	20:00	安否確認	安否問い合わせあり→B4病棟入院患者
3月19日	土	22:00	山田町情報	徳島日赤から「下痢・嘔吐で8人を県立宮古病院へ送った。水道が復旧しておらず衛生状態が悪い」
3月20日	日	12:00	不足薬品	日赤本社から不足薬品の問い合わせあり→キンダリー3E号、生理食塩水1.3%、消毒剤：デイスオーバ、サイテックス、ハイポライト、小児用坐剤/パラセタ坐剤100mg&200mg
3月20日	日	12:06	子育てネット	村井産婦人科から「子育てネットで沿岸で産まれた子の受入体制を整えた」→妊婦は？→「対象とする」→38週の妊婦を紹介したところアバートを提供していただいた
3月20日	日	12:50	BSフジ	BSフジから「明日20～22時震災特別番組を生放送する。スタジオに厚生労働副大臣も来る、電話で5～10分間被災地の状況を医師から伝えてもらいたい」→久保災害対策委員長が出演する
3月20日	日	13:25	薬品補充	山田町和歌山日赤から「チラージンS20μg30～50錠、病院まで取りに来る」→ok、支援物資を配布したい→積載可能なトラックで戻る
3月20日	日	15:06	山田町大沢小学校	和歌山日赤から「水は自衛隊の給水車、電気はついている。学校長が『支援物資は、ありがたい。特に水』と言っていた」と支援物資を持ち帰り
3月20日	日	18:35	高田一中情報	帰還した救護班から「インフルエンザが出た。2診から3診に増やしたが、それでも大変だった」
3月20日	日	15:12	ストーマケア	日赤本社から「静岡新聞に高田一中に避難している方がストーマケアできず不自由していると載り、助けたいとの声があがっている」と問い合わせあり→「17日に外科部長が現地入りし、18日から救護所にストーマ材料を用意している」と回答
3月20日	日	15:24	県医療会議	県支部から「県災害対策本部医療チーム会議に今晚から久保災害対策委員長に出席してもらいたい」→ok
3月20日	日	18:33	在宅酸素	杉村部長から「在宅酸素用ボンベが明日でなくなる人が居る、とりあえず1本」→酸素ボンベは氏名を確認し業者が対応する、それまでの繋ぎのボンベは救護所に用意してある
3月20日	日	20:50	野田村救護体制	奈良県支部から「野田村の医師&保健師と共同で活動しているが24日で撤収する。撤収後は地元医師会が引き継ぐ」と報告あり
3月21日	月	7:44	薬品補充	山田町和歌山日赤から、抗アレルギー薬アレロック5mg100錠→ok
3月21日	月	8:44	NHK取材	NHK仙台から診療体制の取材→「医療材料等が確保できないので通常診療には戻せない。当面外来は縮小し、予約と救急および被災者、手術は緊急手術のみ」
3月21日	月	9:24	高田からバス運行	高田一中から受診バス「18人が乗車し出発した」
3月21日	月	10:44	NHK取材	NHKから電話取材→「透析薬品を25日までに確保できないと患者移送が必要となる。手術は緊急手術のみ。入院食は蛋白質が不足、鶏卵・乳製品が確保できない」
3月21日	月	11:40	薬品補充	県支部から「静岡日赤の救護班から特別養護老人ホーム入所者の薬依頼があった、リストを送るの準備してもらいたい。現地に向かう支部の車に載せて運ぶ」→ok
3月21日	月	13:45	処方情報	循環器科から処方情報依頼あり→支払基金に依頼、レセプト(写)がFAXで提供あり
3月21日	月	17:52	高田市情報	盛岡日赤救護班から「慢性疾患の薬希望とカゼ症状が多い」→薬は院外処方14日分
3月21日	月	18:48	BSフジ	5～10分の予定だったが、15分間電話出演

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月21日	月	23:50	外国人医師	高田救護班から「イタリア人でフランス語と日本語を話す医師が来た」→コミュニティセンターの石木先生へ
3月22日	火	8:13	患者受入要請	高田救護所から「9歳女児をへり搬送するので受け入れて欲しい」→ok
3月22日	火	8:15	本部ミーティング	本日から診療体制はIの変形(通常診療+被災者受入。トリアージセンターは存続する)県支部から「静岡救護班からの情報で、釜石の赤十字救護班が院外処方箋を発行していた。県の医療推進課から止めるように言われた」→久保災害対策委員長が調整のため釜石へ→釜石市医師会と薬剤師会の了解の元で発行していた
3月22日	火	9:41	釜石院外処方	患者家族からタオル、タオルケット等の提供あり→お預かりし、沿岸部から入院している患者に提供する
3月22日	火	9:50	支援物資	釜石救護班から、単一乾電池が不足→病院に在庫無く、調達もできず
3月22日	火	10:20	物資不足	高田からの院外処方箋230枚→薬剤師会から病院周辺調剤薬局に連絡し説明、薬局から処方箋を取りに来てもらい、処方した薬を当院に届けてもらうこととした
3月22日	火	10:45	院外処方箋	県災害対策本部から、診療バスの利用状況の問い合わせあり→「人数は少ないが利用している、処方箋も乗せて薬を届けている。マイクロバスでも乗れる」→マイクロバスは乗り心地が悪く往復4時間の乗車は被災者に酷、当面55人乗バスの運行を続ける
3月22日	火	11:38	高田診療バス	高田救護班から「救急車で患者搬送する」→ok
3月22日	火	13:10	患者受入要請	和歌山が交代で明日&27日活動できない→盛岡から救護班を派遣する
3月22日	火	14:50	山田町救護	小岩井農場から「何か支援したい」と申し出あり→「乳製品&卵が調達できていない」と回答
3月22日	火	15:36	支援物資	八戸日赤からME1名が3月末まで応援のため来院
3月22日	火	16:30	ME応援	盛岡救護班から「昨日の患者数214人、嘔吐・下痢の小児を隔離して様子をみている、病院に送る程ではない。一酸化炭素中毒を県立大船渡病院に送った」
3月23日	水	7:00	高田市情報	釜石市の静岡日赤から8名の処方問い合わせあり→4名判明、残り4名は社保で調剤薬局がわからないため調べられず
3月23日	水	7:40	処方問い合わせ	総合案内から「患者さんから振り込みするほどの額ではない、募金箱は置かないのか」と質問があった→募金箱を設置した
3月23日	水	10:15	募金箱	管財課長から、県の災害対策本部医薬品担当から「県は沿岸部の不足医薬品のみ対応する、内陸は自院で確保したい」と連絡があった
3月23日	水	11:25	医薬品調達	日赤本社から欠品リストの優先度について問い合わせあり→管財課から「手術材料を優先してもらいたい」と回答
3月23日	水	13:05	欠品リスト	神経内科部長から「盛岡市立病院に・血栓止血学会・静脈学会・肺塞栓症研究会から弾性ストッキング提供の話がある」→久保災害対策委員長から県災害対策本部医療班に情報提供してもらう
3月23日	水	17:30	弾性ストッキング	泌尿器科部長&社会福祉士が透析患者の避難先とすることが可能か確認のためふれあいランド岩手へ
3月23日	水	18:00	ふれあいランド岩手	久保災害対策委員長から「県の医療会議で陸前高田市と山田町に胸部XP車が明日配置されると報告があった。弾性ストッキングは日赤が受け取り、各救護所で配布することとした」
3月23日	水	19:10	胸部XP	盛岡救護班から「昨日の取扱い患者数186人、カゼ症状が41人、花粉症が出てきた」
3月24日	木	8:02	高田市情報	釜石市内で活動中の兵庫救護班から6名分の処方内容問い合わせあり→5名分回答
3月24日	木	8:30	神戸救護班	杉村部長から「23日から心のケア活動が始まる。聖マリア病院(福岡)が高田市の調整で竹駒地区に救護所を設置する。盛岡に搬送したい患者がいるが退院後の行き先が課題。県立釜石病院が震災の損傷で耐震基準に耐えられず57床に減った」
3月24日	木	9:20	高田市情報	盛岡市保健所から「福島県から避難してきた方は盛岡市保健所で測定する。希望による測定は県央保健所で行う」と連絡あり
3月24日	木	10:20	原発避難者対応	若手医大の採血チームが来た→陸前高田市災害対策本部に行って活動場所を決めてもらうように(学校前の坂を下りて、左へ曲がり300m位の市給食センター内)
3月24日	木	10:30	高田市救護所班	盛岡市保健所から山田町の被災者から破傷風が発症したので注意するようにとFAXあり→山田町は県支部から、釜石市は遠野現地災害対策本部から、陸前高田市は病院から情報提供
3月24日	木	11:30	破傷風	高野小児科部長から「アレルギー用ミルクが病院に届く、日赤で入手可能とインフォメーションする」→ok
3月24日	木	13:30	アレルギー用ミルク	小岩井農場から鶏卵30kg提供あり「他の病院でも不足しているということなので、盛岡市内の病院に届けることにした」とのこと
3月24日	木	14:40	支援物資	久保災害対策委員長から「県の会議で、救護カルテ&こころのケアは日赤の様式を使うことになった」
3月24日	木	17:50	こころのケア	X線CR撮影車が今日から高田一中に常駐する→照射録1000枚&「災害時の救護班等におけるX線装置の安全な使用について」を救護班へ
3月25日	金	8:09	CR撮影車	釜石市で活動中の神戸日赤から「心療内科を受診させたい患者が居る」→県立中部病院・若手医大・友愛病院を回答
3月25日	金	10:10	心療内科	和歌山日赤から「昨日鼻出血を救急車で県立宮古病院に搬送した。風呂上りに意識障害(話の内容がオカシイ)の方は救護所で点滴したら改善した」と報告あり
3月25日	金	10:24	山田町大沢小学校	総合案内から「石巻日赤を受診していた患者の親戚で、志津川に居る患者(84歳男性循環器疾患)を石巻日赤に受診させたいと相談されている」→志津川から内陸部へ移動した宮城県立循環器呼吸器病センターを勧めた
3月25日	金	11:00	石巻日赤受診患者	日赤本社に20日に依頼した薬品が到着、透析用薬品:キンダリー3E、生理食塩水、消毒剤:ディスポーパ、サイデックス、ハイポライト、小児用坐剤:パラセタ(100mg・200mg)、濃厚流動食:PGソフト、PGウォーター、リーナレン、グルセナEX、CZ-Hi
3月25日	金	14:30	本社支援薬品到着	院長が同行、陸前高田コミュニティセンターにより県立高田病院長石木先生と面会予定→院長代行及び戸羽陸前高田市市長と面会した。
3月26日	土	8:55	高田市救護所班	県立釜石病院外科から「胃潰瘍でクリッピングしたが再出血の可能性あり受入れて欲しい」→ok
3月26日	土	10:15	患者受入要請	宮古保健所から「明日、大沢小学校で採血する。趣旨を書いた用紙をFAXするので周知してもらいたい」→ok
3月26日	土	13:20	医大採血	山田町金沢日赤から診療材料が足りないが手に入るか問い合わせあり→ok
3月26日	土	14:00	山田町救護	

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
3月26日	土	15:20	高田市救護所	高田救護所から「高田一中を紹介されたところ久留米市の医師が救護所に来た。巡回診療に行きたいのでスタッフを出して欲しいと言われ、断ったら居なくなった」と報告あり→日本医師会からありがたいが止めてくれと通知してもらおう by久保災害対策委員長
3月26日	土	16:30	こころのケア	県支部から「本社看護課長からこころのケア要員として愛媛の看護師2人を3/30から派遣する」
3月26日	土	17:58	高田救護体制	杉村部長から「明日から、小児科学会の医師2名が高田に常駐する」
3月26日	土	20:00	高田救護体制	陸前高田市健康推進課長から杉村部長へ「3/28大船渡市保健介護センターにて『地域医療保健連絡会』を開催し今後の医療活動について話し合うので日赤からも参加して欲しい」と要請あり→杉村部長が出席する
3月26日	土	23:10	患者受入要請	県立釜石病院から被災患者の受入要請→ok
3月27日	日	7:35	こころのケア	支部阿部参事から「こころのケアはピンクのスクーターorリボンを着用することになった」
3月27日	日	8:05	患者受入要請	高田救護所から「84歳女性、めまい・嘔吐・マヒ無しを送りたい」→ok→ヘリ搬送となった
3月27日	日	14:15	インフルエンザ	高田からバスで受診した小児がインフルエンザB型と診断されA2入院。同乗してきた方がA516号4人部屋に入院していた→安全管理者へ連絡、明日からバス利用者はマスク着用してもらうよう高田救護所へ連絡
3月27日	日	16:10	救護支援	岡山日赤から「明日交代で空白が生じる、自衛隊に山田南小学校の救護を依頼した」と報告あり
3月28日	月	10:10	患者受入要請	県立釜石病院から「パーキンソンで肺炎を併発した患者」→ok
3月28日	月	10:38	薬品補充	金沢日赤救護班から山田町内で調達できない薬品補充要請あり、糖尿病:グラクティブ25mg、ベイスン0.2&0.3、アマリール1mg、花粉症:アレグラ60mg、リボスチン点眼&点鼻、便秘:グリセリン浣腸30&60ml、抗生物質内服各種→病院で準備し、今夕金沢日赤と交代予定の徳島日赤に病院を経由してもらい届ける
3月28日	月	10:55	インフルエンザ対応	県支部から「県災害対策本部から県立宮古病院に山田町から軽症のインフルエンザ患者が送られているので減らすように」と要請があった→久保災害対策委員長が確認「当初は送ることになっていた。山田町でインフルエンザが流行しているという噂から増えるという話が増えたり伝わった(実際に患者が送られて来て困っているという話ではなかった)」
3月28日	月	15:55	患者受入要請	釜石のぞみ病院から「入院患者8人お願いしたい。全員慢性期の患者」→ok
3月28日	月	16:10	高田救護体制	杉村部長から「地域医療保健連絡会で巡回診療を縮小することになった。30日から秋日日赤の巡回診療を1班にする」
3月28日	月	16:30	本部ミーティング	明日から手術を通常どおり行う。血液センターは4月10日まで病院を支援する予定
3月29日	火	7:30	陸前高田市情報	杉村部長から「高田地区の院外処方は今日から30日処方ok。足澤先生が感染症部をアレンジした。今日から小児科医2名常駐(横浜労災・静岡県立)1名が一中で診療、1名は巡回診療。高田地区を地元石木先生が巡回診療することになり秋田1班に縮小」
3月29日	火	8:15	弾性ストッキング	弾性ストッキングが1200枚送られてくる、日赤の救護所を起点とし被災地に配布する
3月29日	火	8:49	山田町情報	和歌山日赤から「本日から自宅被災者をリストアップし、訪問診療予定」
3月29日	火	9:51	マスコミ対応	産科棟師長から「子育てネットが打合せのため来院したらNHKとTBSが同行していた。本人・夫は顔を写さないでということで条件は守ってインタビューしているが、事前連絡無しは困る」→総務課長が対応
3月29日	火	10:05	精神障害者対応	厚労省から県経由で精神障害者の服薬に関する注意文書→釜石地区は遠野現地災害対策本部にメール、高田は受診バスに文書、山田町は支部から連絡する
3月29日	火	10:55	患者受入要請	県立遠野病院事務局長から10名受け入れ要請→ok
3月29日	火	12:45	弾性ストッキング	350足納入→各サイズ100足を各地域(山田町、大槌町・釜石市、陸前高田市)へ
3月29日	火	15:10	患者受入確認	県立遠野病院事務局長に問い合わせ→退院が多かったので今日は無い。2~3日は大丈夫なので、依頼するときは改めて連絡する
3月29日	火	15:40	患者受入要請	県立大船渡病院から受入要請→ok 明日来る、神経内科で受入
3月29日	火	20:09	高田救護班	「心電計が届いたがコンセントが3ツロ、アダプターが必要」→30日出勤班へ
3月30日	水	11:57	高田一中情報	救護班から「ドコモの中継車両が設置され携帯電話が使えるようになった」
3月30日	水	12:00	支援物資	日本イーライリリー(株)から、タオル、ティッシュ、ホッカイロ、LEDライト等の提供あり
3月30日	水	12:25	弾性ストッキング	宮城県循環器呼吸器病センターから弾性ストッキング3箱到着
3月30日	水	14:30	転院受入要請	釜石市のぞみ病院から「転院8人は、明後日(4月1日)朝8時自衛隊車両で釜石を出発する」
3月30日	水	19:00	深谷日赤到着	深谷日赤7名到着→道路・救護状況等を説明し山田町へ
3月31日	木	10:30	透析患者転院	地の森クリニックと医師同士で調整し、6日に大船渡へ帰る予定とした
3月31日	木	10:35	支援物資	小岩井農場から卵30kgの提供あり→入院患者の食事に利用
3月31日	木	10:40	ギャラクシー	県からNTTがギャラクシーを貸与するとの情報あり→久保災害対策委員長から救護班用として12台依頼
3月31日	木	11:05	アレルギー用食品	高野小児科部長あて、小児アレルギー用カレー&ミートソース到着
3月31日	木	12:33	CT検診車	杉村部長から「CT撮影車設置した。4月3日に県立中央病院に引き継ぐが、スタッフ5名(2人×3日、3人×4日)が食事も宿泊も準備していない」→今日の食料は盛岡救護班から提供し、宿泊と明日以降の食事は久保災害対策委員長が県に依頼→CT検査伝票200枚を高田行きバスで届ける
3月31日	木	12:33	こころのケア	高田救護班から「県支部の精神科クリニックから4月3日午後スタッフ10人で来ると連絡があった。『県をとおり』と話したら『県からの依頼だ』と言われた」→県に問合せ→県にはコーヒーサービスと届けられている、こころのケアとは認識していない
3月31日	木	14:10	高田バス	バスに往復乗車予定の〇〇さんが14時になっても戻らない、病院の外に出たようだ→高田救護班に連絡、校内放送で家族を呼び出すが応答無し→14時30分まで出発を遅らせ、それ以降に戻ったらふれあいランド岩手で泊ってもらう
3月31日	木	14:20	転院患者カルテ	病棟から「県立宮古病院から転院して来た患者カルテを返却して欲しい」→本部で預り、和歌山日赤に返却を依頼
3月31日	木	14:45	岩手日報	岩手日報から避難所の衛生状況等について問い合わせあり→久保災害対策委員長から回答
3月31日	木	16:00	外国報道取材	日赤本社広報から「明日か明後日イギリスの取材を杉村部長に受けてもらいたい」→ok
3月31日	木	16:15	透析患者転院	地の森クリニック&関連病院から入院中の12人中7人が6日転院希望、1人は家族と相談中、4人は入院継続希望
4月1日	金	8:10	本部ミーティング	来週から朝のミーティングは廃止し、16:30のみとする

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
4月1日	金	9:07	連絡先問い合わせ	盛岡市役所建築住宅課から「外来透析している患者の息子が市営住宅の申込みに来て連絡先を聞いたが、番号間違いか通じない」→患者or息子から連絡することとし、透析室に依頼した
4月1日	金	10:38	山田町救護情報	和歌山日赤から「昨夕の山田町の医療ミーティングで山田南小学校から小児科医が引きあげたと報告があった。和歌山日赤が小児科医なので4日まで大沢小学校で小児を扱うこととした」
4月1日	金	15:08	支援物資	興和薬品から大判タオル120枚提供あり→沿岸部から入院している患者と避難所に配布
4月1日	金	22:00	アレルギー用ミルク	滝沢村の親戚宅に避難している方へアレルギー用ミルク2缶提供
4月2日	土	10:45	支援物資	坂井薬師堂からオムツ70袋程寄付したい→お預かりし、のぞみ病院から転院してきた患者に使用
4月2日	土	16:50	自動血圧計	久保災害対策委員長から「県の会議で避難所に自動血圧計が必要だという話が出ている」→内科外来待合室から高田一中へ1台貸し出し
4月3日	日	12:00	山田町情報	和歌山日赤から「昨日の受診患者数56名、全て軽症。花粉症の患者が増えている」
4月4日	月	8:35	検査機器マニュアル	高田一中救護所に検査機器が設置され、操作マニュアル作成のため検査技師が高田へ
4月4日	月	9:08	高田情報	高田一中救護班から「血圧計が好評、血圧手帳がアツという間に無くなった」→製薬各社に血圧手帳の提供を依頼
4月4日	月	10:16	患者受入要請	高田救護所藤澤班長から「82歳男性、呼吸苦、SPO ₂ 80、肺雑音あり、救急車で送りたい」→ok
4月4日	月	12:40	高田調剤薬局	NHK全国ニュース「陸前高田市内に9カ所あった調剤薬局が全て津波に流された。臨時調剤薬局が開設され、これまで盛岡で調剤し数日かかっていたものが改善される」
4月4日	月	15:46	高田病院看護師	杉村部長から「11日から高田病院の看護師が赤十字救護班に各1名(計3名)日中同行する」
4月4日	月	16:10	家電セット	県支部から「赤十字から仮設住宅に家電セット(炊飯器、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、電気ポット、電子レンジ)を設置する。財源は海外から日本赤十字社に寄せられた救援金」
4月5日	火	8:30	外国メディア取材	杉村部長から「本社から依頼された取材は、ポーランド人で巡回診療などホボ丸一日取材された」
4月5日	火	9:58	救援毛布	県支部から「日赤本社から救援毛布100箱が7日に届く、支部に置けない分は災害救援センター(体育館)に置かせて欲しい」→ok
4月5日	火	10:25	支援物資	県支部から「マスクが事務机位の箱で70箱届く」→災害救援センター(体育館)へ
4月6日	水	10:00	患者移送	震災後入院していた地の森クリニックの透析患者7名が大船渡に戻るため出発
4月6日	水	11:45	山田町情報	和歌山日赤救護班から「昨日心不全の疑いで救急車を要請し県立宮古病院へ送った患者が心不全で入院したと報告があった」
4月6日	水	14:20	血圧手帳	ファイザーから、血圧手帳400冊提供あり
4月6日	水	16:30	本部ミーティング	11日(月)から通常体制とする(災害対策本部は残すが当直は終了)、本部ミーティングも今週末で終了
4月6日	水	16:55	CPA	畠山班長班が帰還「屋前、避難所でCPAが1件発生した。消化管出血らしいが、呼ばれて行った時は既に心肺停止状態。盛岡・八戸日赤・小児学会の医師3人で心肺蘇生したら心拍再開し、県立大船渡病院に送った」
4月7日	木	7:20	高田救護所	高田救護所から「物品が多くなり、倉庫が必要」→ハイエースを高田に常駐し機材倉庫とする
4月7日	木	7:45	高田救護所	高田救護所から「小児感染症患者のトイレとして小児用オマルを準備して欲しい」→オマルは病院で購入。囲いは支部120cm四方×高さ180cmのテント1台
4月7日	木	9:30	自動血圧計	久保災害対策委員長から「県が自動血圧計を30台用意した、沿岸の避難所に配布する」
4月7日	木	11:03	呼吸器疾患	高田救護所安部班長から「呼吸器系(肺炎・喘息等)疾患の高齢患者が増えている、明日呼吸器科を受診させられないか」→呼吸器科休診日のため久保災害対策委員長から盛岡友愛病院長に依頼しok
4月7日	木	16:45	ロタウィルス	安部班長から「7人部屋から2人ロタ発症し、同室者7人をロタ扱いとし隔離した」と報告あり
4月7日	木	23:32	余震	盛岡震度5強、市内停電。人的被害なし、建物被害なし。停電→自家発電。エレベーター停止、PHSダメ、携帯電話ダメ、インターネットダメ、TVダメ。防火扉が閉まった。
4月7日	木	23:50	職員登院	登院基準により、職員が多数参集
4月7日	木	23:53	高田救護班	高田一中、盛岡日赤・秋田日赤救護班の安全を確認
4月8日	金	0:08	救護班安全確認	山田町前橋日赤・和歌山医療センター・大阪日赤の救護班員の安全を確認
4月8日	金	0:20	TV確保	ワンセグをPC経由でTVに
4月8日	金	0:24	外来受入準備	正面玄関で被災者受入準備
4月8日	金	0:27	入院応援	急患室から「入院患者を病棟上げたい」→男性職員が紙担架で搬送
4月8日	金	0:30	在宅レスピ患者	往診クリニックから在宅レスピレーター患者4名受入要請→ok
4月8日	金	0:36	高田市情報	救護班から「避難所がザワついたが、すぐおさまった。停電しているがハイエースから供給可能」
4月8日	金	0:40	重油残	県医療推進課から、被害の状況確認&重油どれ位もつか→3日、本日給油予定
4月8日	金	0:42	市医師会	盛岡市医師会から状況確認→入院患者&建物被害無し。外来受入体制整えたが患者は来ていない
4月8日	金	0:58	入院患者朝食	栄養課から「ガスが使える、朝食は調理可能」
4月8日	金	1:05	エレベーター	A棟エレベーターが復旧
4月8日	金	1:13	職員解散	午前1時30分で当直者を残し帰宅可とする
4月8日	金	1:25	エレベーター	B棟エレベーターも復旧
4月8日	金	1:50	在宅レスピ患者	在宅レスピレーター患者がB3病棟に入院(1人め)
4月8日	金	2:15	受診患者2名	①ベランダから飛び降りた→帰宅、②階段10段位落ちて鎖骨骨折→入院
4月8日	金	2:20	外来診療体制	午前8時の時点で停電が復旧しない場合、外来は予約患者と急患のみとする。調剤薬局が営業できなければ院内処方
4月8日	金	2:40	本部解散	一旦解散し、午前8時前に集合する

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
4月8日	金	6:20	透析患者避難相談	透析患者の家族が来院し「マンションの11階に避難していたが、停電で降ろすには降ろしたが戻れない、どうしたら良いか」→近い避難所はふれあいランド、暖房もあって良い、もめごとがあったと耳にしているが→それがあってマンションに移った、今日透析日→病院内で待つのは構わない、病状が入院必要であれば入院だが、必要なければ近い避難所はふれあいランド
4月8日	金	7:10	停電対応	本日出動救護班が、高田救護所へ停電対応として、カセットコンロ、コンロ用ガスボンベ、氷、電灯、ラジオ、単二電池、単一電池を持参
4月8日	金	7:33	震災関連患者	県支部から、受診状況の問い合わせあり→肋骨骨折、飛び降り、在宅レスピ入院3名
4月8日	金	8:00	本部ミーティング	外来は急患対応。停電のため手術は中止。調剤薬局の営業確認できないため院内処方7日分以内。X線はポータブルで胸腹部のみ
4月8日	金	8:22	インターネット復旧	災害対策本部のインターネット復旧
4月8日	金	8:30	玄関掲示	停電のため診療制限中
4月8日	金	8:33	医療推進課	県庁医療推進課から、被災状況・ライフライン・燃料の状況確認→建物被害無し、電気のみ自家発電、重油は3日分だが本日予定どおり給油できることを確認済み
4月8日	金	9:00	電工ドラム	発電機3台から病棟に供給する30メートル位の電源ドラム8台必要→工具店に依頼し購入
4月8日	金	9:40	在宅レスピ患者	1名は自宅で頑張る、バッテリー充電のため病院のコンセントを借りたい→ok
4月8日	金	13:30	電気復旧	電気が復旧した
4月8日	金	13:50	調剤薬局	病院周辺の薬局が営業開始→院内放送「業務連絡します。電気が復旧し、調剤薬局が営業を再開しました。通常どおり院外処方箋が発行可能となります」
4月8日	金	14:50	PHS復旧	院内放送「業務連絡します。PHSが復旧しました」
4月8日	金	16:30	本部ミーティング	月曜日は通常診療の予定だが、朝8:15からミーティングする。大船渡が明日停電のままであれば透析患者15名受入れ、5名は入院する予定
4月8日	金	17:40	高田市情報	杉村部長から「高田一中の電気が復旧した」
4月8日	金	18:09	車両事故	当院救急車が住田町内で単独事故。路外に転落し横転。車両は大破したが、乗員にケガは無し
4月9日	土	8:24	透析患者	外来師長から「大船渡の電気が復旧したので透析患者は来ない」
4月9日	土	9:22	患者受入要請	県立釜石病院から患者受入要請あり→ok
4月10日	日	8:35	院長・久保部長沿岸へ	院長 & 久保災害対策委員長が陸前高田市・大船渡市・釜石市方面へ
4月10日	日	9:15	こころのケア	和歌山救護班から、こころのケアのカウントについて問い合わせあり→支部阿部参事から「こころのケア要員用活動記録」に記載した人数→県内の救護班にギャラクシーで周知→和歌山から「要員用活動記録用紙がない」→エクセルで作成しギャラクシーで送信
4月11日	月	8:15	本部ミーティング	本日から通常診療。定期のミーティングは今回で終了。震災から1ヶ月、全員で黙祷
4月11日	月	11:35	血圧手帳	オムロンから血圧手帳1000冊提供あり
4月11日	月	10:30	読売新聞	読売新聞本社から震災後の診療状況について電話取材→震災後外来診療中止し、被災者と救急対応。週明け月・火は一般外来を中止し被災者と救急、水・木・金は予約と救急と被災者、22日から28日は通常外来としたが手術は緊急のみ。4月7日の余震翌日は停電で調剤薬局が休業したため院内処方。本日から通常診療
4月13日	水	10:45	山田町救護体制	宮古保健所から「山田町に本部を立上げ、24時間トリアージ機能を持った救護所を作り集約したい。赤十字も山田高校はインフルエンザが流行しているのものでそのままし、他の2班はその中に入れてもらいたい」と要請あり
4月13日	水	14:37	調剤請求方法	陸前高田の院外処方している調剤薬局から請求方法の問合せあり→「県と県薬剤師会が取り決め済み。国が9割・県が1割負担するという情報を得ている。県薬剤師会に問い合わせしていただきたい」と回答。
4月13日	水	15:20	体圧分散マット	県立高田病院から「日赤でエアーマットの取りまとめをしている、高田市に十数台入る」との情報があった。訪問看護で高寿園で2台希望ということである。→エアーマットではなく、体圧分散マット
4月14日	木	20:19	院外処方発行	和歌山日赤から「山田町でも院外処方箋を発行出来るようにならないか」と問い合わせあり→「調剤薬局の了解を得ないと出来ない、山田町の対策本部と相談して回答する」
4月15日	金	8:30	体圧分散マット	陸前高田へ体圧分散マットを運搬。
4月15日	金	8:35	山田町救護体制	県支部から「手稲・尾張・習志野の3チームが21日までシフトを組んでおり、日赤は今回はシフトに入らないことになった」と報告あり。
4月15日	金	8:40	家電6点セット	入院患者の家族が「赤十字の電気製品6点セットをどこに行けばもらえるか」と来室→釜石市に電話し、直接担当者と話していただいた。
4月15日	金	9:40	山田町院外処方	県支部から「院外処方箋の発行を岩手県医療推進課に打診した。震災直後は超法規的に医療救護班による院外処方の発行を認めたが、今後は通常の保険診療体制に戻していきたい・・・」と回答があった。医療救護班による院外処方箋の発行を拡大する考えは無さそうだ、とのこと→和歌山救護班に回答。
4月15日	金	14:50	山田町院外処方	和歌山日赤から「山田町の災対本部から確認した。やはり保険に戻したいという意向」
4月16日	土	9:23	山田町院外処方	和歌山救護班から「山田町災害対策本部から院外処方を発行しても良い」と言われたと報告あり→病院から直接山田町災対本部担当者に問合せし確認→山田町内で活動中の赤十字救護班3班に伝達した。
4月16日	土	16:00	高田救護体制	帰還した救護班から「24時間やっているということで混まないうちに早朝に来る人が居る、診療時間を決めてよいのでは」と報告あり。
4月18日	月	14:30	高田救護体制	救護所の体制について、明日から診療時間を8時～21時とし、21時～8時は急患対応とすることに高田市と調整。
4月18日	月	15:00	高田情報	帰還した救護班から「外傷が増えてトキソイドの使用が増えている。こころのケアが必要な方が目立ってきた」と報告あり→こころのケア班に情報提供。
4月18日	月	15:20	本部当直廃止	今晚から病院災害対策本部の当直を廃止、夜間は医療社会事業課長が災害担当PHSで対応する。
4月18日	月	15:40	山田町救護体制	和歌山救護班から「山田町のミーティングで日中は近藤病院が、夜間は県立宮古病院が診ると報告があった。慢性疾患の方には『次は近藤病院で診てもらおうように』と説明している」と報告あり。
4月19日	火	8:40	高田救護体制	杉村先生から「25日から県立高田病院看護師2人が平日日中のみ同行する」と報告あり。
4月19日	火	8:40	空気清浄機	久保先生から「シャープ岩手支店から空気清浄機(プラズマクラスター)40台提供の話があった」と報告あり→高田第一中学校分として3台(高齢者室・感染症室・小児診察室)を要望することとした。

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
4月19日	火	13:32	車両事故	山田町で大阪支部のこのころのケア班が自損事故。乗員4人中1人が額を裂創、頭部症状あり入院(翌20日退院)。
4月21日	木	7:40	児童対応	高田小学校の副校長から「小学校再開に伴い、保健室で対応できない病やけがを救護所で対応して頂きたい」と電話で依頼あり→「一次対応(救護)は問題ありません」と回答。
4月21日	木	10:30	皮膚科診断依頼	高田救護所小児科医からギャラクシーに写真送信あり、皮膚科疾患の診断依頼→皮膚科医が高田救護所の小児科医に電話、直接相談した。
4月21日	木	13:01	感染症サーベイランス	救護班から「県立病院の看護師が来て、ICTの関係で感染症を報告してもらいたいと救護所に説明に来たので病院に連絡してもらうよう話した」と報告あり。
4月22日	金	14:45	感染症サーベイランス	県立磐井病院副院長から電話で感染症サーベイランスに協力依頼あり→了承
4月23日	土	14:10	山田町院外処方	山田高校で活動中の姫路日赤救護班から「院外処方箋はこの薬局でも良いか?」と問い合わせあり→「救護所で出した院外処方の費用は調剤薬局から県に直接請求するため、山田町内の調剤薬局(3~4ヶ所)で受け取ってもらいたい」と回答。
4月23日	土	16:42	取材依頼	NHKから「大船渡市から透析のため入院している患者に夫が面会する様子を取材したい。夫からは了解を得ている」と依頼あり→了承
4月25日	月	11:15	身体特徴問い合わせ	当院で膝関節置換術を受けた患者家族から「警察から遺体確認のため身体的特徴があれば良いと言われた」と問い合わせあり→人工骨のLOT番号を確認し回答した。
4月28日	木	8:15	空気清浄機	杉村先生から「鶴浦医院で埃っぽいので1台設置したい、との要望あり」→シャープへ電話で依頼、1台確保していた。
4月28日	木	9:08	高田ミーティング廃止	杉村先生から「高田一中で活動する赤十字救護班が毎晩ミーティングしていたが昨夜で終了し、今後は必要時に開催することにした」と報告あり。
4月28日	木	16:25	高田情報	帰還した救護班から「今日、高田一中避難所が暑く、本部から●虫対策、●脱水予防用の水、●食べ物の冷却対策の相談があった。本来は行政だが日赤に言った方が対処してもらえろという思いがあるようだ」と報告あり。
4月29日	金	17:04	小児喘息対応	大沢高校神戸救護班から小児喘息の処方問合せあったが、社保で紙レセプト請求の医療機関のため基金から確認できず→当院小児科医師が神戸救護班内科医に電話、患者の病状等を確認し相談して処方した。
5月2日	月	11:20	高田巡回診療	杉村先生から「5月13日で救護班による巡回診療を終了する」と報告あり。
5月2日	月	13:00	高田地区診療機関	内科外来から「陸前高田に戻る患者がいる、高田市内で診療している医療機関は?」と問い合わせあり→米崎地区: 県立高田病院(米崎コミュニティセンター)、小友地区: 鳥羽医院、高田地区: 鶴浦医院・吉田歯科医院、広田地区: 国保広田診療所(広田小学校)、二又地区: 国保二又診療所(高田病院から)
5月2日	月	13:50	山田町大沢小学校	県支部から「和歌山救護班の撤収が完了した」と報告あり。
5月3日	火	15:05	高田情報	帰還した救護班から「昨日インフルエンザB型と診断された方が3名。現在避難所内で隔離3名、自宅療養1名。4名ともインフルエンザB型」と報告あり。
5月4日	水	9:50	大槌病院へ返却	久保先生が県立大槌病院から転院して来た患者の診療録等を持参し返却。
5月4日	水	15:00	高田情報	帰還した救護班から「新たなインフルエンザ無し。甲状腺疾患の患者を県立大船渡病院へ緊急搬送した。被災前CPAP装着していた方のイビキがひどく個室管理とした」
5月6日	金	14:27	高田救護体制	杉村先生から「12日から県立高田病院が市内を巡回診療する」と報告あり。
5月6日	金	15:40	高田情報	帰還した救護班から「風邪症状(熱発、嘔吐、下痢)で夜間受診が多かった。マイヤとファミリーマートの品揃え十分、現地調達可能」と報告あり。
5月6日	金	17:21	山田町救護体制	杉村先生から「近藤病院の医師と話をした。色々な所が救護活動しているが統制がとれず困っている。赤十字がイニシアティブをとることにしても良いか支部に確認して欲しい」と問い合わせあり→県支部へ報告「山田町の医療は、宮古保健所がコントロールしている」と回答あり。
5月7日	土	13:12	北海道問い合わせ	県支部から「北海道支部から、救護班用の薬剤は気仙薬剤師会から補充可能か?と問い合わせがあった」と問い合わせあり。
5月7日	土	14:20	高田情報	帰還した救護班から「下痢・嘔吐が蔓延している、終息するのを待つしかない」と報告あり。
5月9日	月	10:23	高田薬剤補充	杉村先生から「北海道支部への薬剤補充について、気仙薬剤師会から供給可能との回答を得た」と報告あり→県支部へ回答
5月9日	月	14:30	吸入器	帰還した救護班から「喘息患者の親から吸入器の希望あった」と報告あり→久保先生からオムロンに提供を依頼した。
5月9日	月	14:30	高田院外処方	高田救護班から「薬をすぐ欲しいという方が高田市内の調剤薬局に院外処方箋を持っていきたいと言っている」と問い合わせあり→杉村先生が気仙薬剤師会に問い合わせ「待たせるかも知れないがok」と回答あり。
5月10日	火	10:35	吸入器	オムロンから災害支援としてネブライザー2台提供あり、高田一中の喘息患者へ1台提供。
5月10日	火	14:50	高田情報	帰還した救護班から「年少者の嘔吐・下痢が多く、ノロウイルスも含まれていると思う。昨日保健所が避難所に来て検体採取した」と報告あり。
5月12日	木	11:00	高田救護体制	県支部から「北海道支部から救護班に薬剤師が居ないと問い合わせがあった」と連絡あり→杉村先生が高田市・高田病院と相談して回答することとした。
5月13日	金	8:40	高田救護体制	杉村先生から「東京薬剤師会から毎日9~17時まで薬剤師が常駐することになった」と報告あり→県支部へ回答
5月14日	土	8:00	高田救護時間	杉村先生から「高田救護所の診療時間を0時~9時急患対応、9時~12時診療、12時~13時休憩、13時~19時診療、19時~24時急患対応とすることとした」と報告あり。
5月14日	土	8:00	高田一中環境	杉村先生から「高田一中の上水道は飲用可能。下水道が通り、水洗トイレが使用可能となった」と報告あり。
5月14日	土	日中	救護所図面	杉村先生と高田一中プレハブ救護所の図面を作成→陸前高田市健康推進課へ提出
5月18日	水	11:00	釜石救護体制	県支部から「釜石広場救護所を5月23日から午後診療とし、5月25日で撤収する。その後3班から2班体制に縮小して大槌町の巡回診療を6月中旬まで実施し、釜石地区の医療救護活動を終了する」と報告あり。
5月20日	金	9:20	のぞみ病院	釜石のぞみ病院から転院患者の現在の状況について問い合わせあり→川村保健師が確認し回答
5月20日	金	14:20	緊急セット	滝沢村から「大槌町で赤十字から被災者に配布された緊急セットをみた、必要な物が揃っており村として備蓄を検討したいので見本が欲しい」と依頼あり→入院被災者用から1個を盛岡赤十字病院ホームページに救護活動情報をUP
5月20日	金	16:40	ホームページ	盛岡赤十字病院ホームページに救護活動情報をUP
5月23日	月	18:05	CT検診車	杉村先生から「CT検診車の利用は明日まで、それ以降のX線撮影は米崎コミュニティセンター」と報告あり。

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
5月31日	火	14:05	高田情報	救護班から「便利だからと救護所を受診する人がいる、市から診療している医療機関を受診するよう広報してもらう必要がある」と報告あり→杉村先生から高田市へ問合せ「今日付けの広報で鶴浦医院再開を載せた、受診が増えないようであれば考える」と回答あり。
6月5日	日	9:00	長部地区	こころのケア要員から「長部地区は支援物資が届かず、食事はカップラーメン。病院に届いているレトルト食品を持って行って良いか」→ok
6月7日	火	13:45	皮膚科診断	高田一中旭川班から皮膚科の診断依頼あり、皮膚科医師がギャラクシーの患部写真を診ながら直接医師同士で相談した。
6月7日	火	14:30	TV設置	社会事業室屋外に専用アンテナを設置し、壁面にTVを固定。停電時でも視聴可能。
6月8日	水	8:00	ベッド提供	松原園から「ベッドが届いたとお礼があった」→病院で病床削減により使用しなくなったベッドをパラマウントベッドが松原園まで運搬した。
6月8日	水	14:30	ピーチタオル	こころのケア要員から「長部地区が喜ばれた、もっと欲しい」と要望があり、支部から18枚入り3箱を調達した。
6月8日	水	14:40	Tシャツ	久保先生から「救護衣が暑い、夏用にTシャツorポロシャツを作ってはどうか」→支部へ要
6月9日	木	8:35	Tシャツ	県支部から「フィリピンから支援物資として『がんばろう日本』と書いたTシャツが届く」と回答あり。
6月9日	木	11:55	本社支援事業	県支部から「本社職員が支援事業の参考とするため久保先生&小田切さんから情報収集のため病院に行く」と連絡あり。
6月13日	月	14:15	支援物資	オムロンから「血圧計100台と体温計100本提供あり→こころのケア班から被災者へ。
6月14日	火	17:00	救護所移転	21日内装完成、23日水回りエアコン搬入取り付け。23日物品搬入、24日11時～15時休診して救護所移転。
6月15日	水	9:00	X線簡易撮影装置	前橋日赤からX線装置の搬入について問い合わせあり、プレハブ移転の予定を回答。
6月20日	月	10:00	救護所カルテ	県支部から「釜石の救護カルテをどこで保管するか、持ち帰っている救護班もある」と問い合わせあり→「費用請求するために持ち帰っているのだから、今回は救護所毎の薬品と数量で請求するので救護カルテは必要ない」と回答→釜石市医師会が保管することとし
6月20日	月	11:00	仮設調剤薬局	杉村先生から「今回は救護所に併設なので不問に伏す、保険診療で後利用する場合はキッチリしてもらおう」と連絡があったと報告あり。
6月20日	月	17:10	ボランティア診療	救護班から「ボランティアが釘を踏んで受診したいと連絡があった、断って良いか」と問い合わせあり→「ボランティアも1次救護は対象とする。日中で緊急性が無い場合は保険診療機関の受診を勧めるが、高田で時間外に受診できるのは救護所だけ。大船渡病院の受診を勧めるかどうかは現場の判断」と回答。
6月23日	木	6:51	余震	震度5弱、津波注意報発令。エレベーターが停止し、入院患者の朝食を職員が手渡して上層階へ運搬した。
6月23日	木		救護所物品搬入	プレハブ救護所用の物品を支部トラック&パジェロで高田へ運搬。
6月24日	金		救護所移転	移転作業のため職員6人派遣。11時～15時まで診療を中止し移転作業、15時からプレハブで診療を開始した。
6月27日	月	8:30	プレハブ備品	北海道救護班から、テーブル・壁掛け時計・冷蔵庫・電子レンジの要望あり→冷蔵庫と電子レンジは支部に依頼した。
6月29日	水	12:00	Tシャツ	フィリピンから支援のTシャツ入荷→救護班員が着用することとした。
7月1日	金	9:15	こころのケア予定	細川師長から「8月、2～5日&8・9日でこころのケア活動終了することになった」と情報あり。
7月5日	火	9:00	災害救助法	久保先生から「昨夜の県の会議で、災害救助法が7月10日までと通知があり、岩手県は8月10日まで医療救護の延長を要望した」と報告あり。
7月8日	金	15:30	高田情報	県立高田病院の仮設病院引渡しが7月20日に決まり、25日(月)から診療開始予定。それに伴い、現在日赤救護所に入っている金星薬局も移転する予定。12日(火)に県立高田病院、陸前高田市、大船渡保健所との会議があるので杉村先生と長谷川事業推進課長が出席し、日赤救護所の撤収を7月末頃で打診することとした。
7月12日	火	17:23	高田撤収	杉村先生から「陸前高田の医療会議(高田市・県立高田病院・大船渡保健所・日赤)で、7月29日午後7時で救護終了、30日午前9時まで急患対応で撤退で了承された。医療会議は今回で終了」と報告あり。
7月14日	木	9:37	救護所後利用	杉村先生から「県医師会がプレハブを後利用し診療することになった、日赤から引き継げる物品機材等を確認したい、とのこと」→ok、一覧表を送信
7月14日	木	16:00	高田救護所図面	県医師会から「高田救護所の図面が欲しい」→メールに図面を添付し送信。
7月22日	金	14:00	小児学会医師	杉村先生から「小児学会の医師は、日赤撤収後は米崎or大船渡に移動することになった」と報告あり。
7月23日	土	13:35	余震	余震、盛岡震度4、内陸南部5強、B棟エレベーター2基停止、高田救護所&こころのケア班の安全を確認。
7月25日	月		県立高田病院	県立高田病院が仮設病院で診療を開始。
7月29日	金	17:00	救護所閉所式	高田一中体育館で日赤救護所閉所式。院長・久保先生・杉村先生・救護班員が出席。
7月30日	土	11:10	救護カルテ	赤十字救護班が診療した救護カルテを高田市健康推進課へ引き渡し。
8月2日	火		救護所後利用	岩手県医師会から確認、●8/7から診療を開始。●岩手県内陸南部の開業医が当番で診療する。●診療場所は、日赤救護所後(プレハブ)+日本医師会のトレーラーハウス2台。●診療日時は水・木・土曜日が15時～18時、日曜日が11時～16時。●診療科は、内科・外科・小児科・耳鼻科・眼科・皮膚科等(曜日によって割り当て中)。●診療期間は、2年を予定しているが、受診者数と地元医療機関の診療状況しだい。
8月5日	金	9:10	救護所診療	高田市健康推進課から「救護所で保険診療していたか？」と問い合わせあり→「保険診療はしていない。災害救護として薬品代と材料代は県に請求した」と回答。
8月7日	日		県医師会診療所	県医師会が診療所での診療を開始
8月10日	水	16:00	災対本部解散	病院災害対策本部解散式
8月18日	木		看護ケア	看護ケア班が活動を開始
8月29日	月		看護ケア	看護ケア班が活動を終了
9月9日	金		心理社会的支援事業	県支部から「宮古市中里仮設住宅の心理社会的支援事業に9/23(金)1名派遣、以後毎週土曜日1名派遣する」と依頼あり。
9月23日	金		心理社会的支援事業	心理社会的支援事業が活動開始
9月30日	金	16:00	活動の振り返り	病院内の活動振り返りを開催。発表者12名。職員アンケート集計結果報告、本部体制と活動、医療救護班の活動(7名)、こころのケア、受入れ体制と活動(2名)。

日付	曜日	時刻	項目	活動内容
10月18日	火	16:00	和歌山ボランティア	和歌山ボランティア4名が救急車で来院「6カ月経ったら来ると決めていた。夜間、雪道の峠越えは危ないからと盛岡日赤から止められたと和歌山県支部に報告した時、山田町まで移動するよう指示があったが『地元の判断に従う』と盛岡に留まった。山田町で活動中、凍結した路面でスリップして危なかった。止めてもらって助かった」
11月1日	火	18:00	岩手県支部合同報告会	県支部・病院・血液センター・鶯鳴荘から活動報告
11月4日	金		肺炎球菌ワクチン	日赤が70歳以上を対象に肺炎球菌ワクチンを接種する→当院も外来で接種する。
12月5日	月		もち米	総務課長から「宮崎の小学生から寄贈されたもち米210kgは、全て支部に渡し宮古市中里仮設住宅の活動で利用することになった」と報告あり。